

# 2023年12月期 第2四半期決算説明資料

August 10, 2023



セーフイー株式会社

東証グロース：4375

# 目次

1. 会社概要および事業概要
2. 2023年12月期第2四半期実績
3. 事業進捗アップデート

Appendix

# 1. 会社概要および事業概要

1. 会社概要および事業概要

2. 2023年12月期第2四半期実績

3. 事業進捗アップデート

Appendix

# 会社概要

## At a Glance

設立年月

2014年10月

従業員数（2023年7月）※1

394人

ARR（2023年6月末）※2

8,091百万円

課金カメラ台数（2023年6月末）※3

20.7万台

※1：各月初の人数

※2：ARR：Annual Recurring Revenue。各四半期末時点のMRR（Monthly Recurring Revenue）を12倍して算出。  
MRRは対象月末時点における継続課金となる契約に基づく当月分の料金の合計額（販売代理店経由の売上を含む）

※3：各四半期に販売したカメラ台数ではなく、各四半期末時点で稼働・課金しているカメラ台数

## 製品・サービスの概要

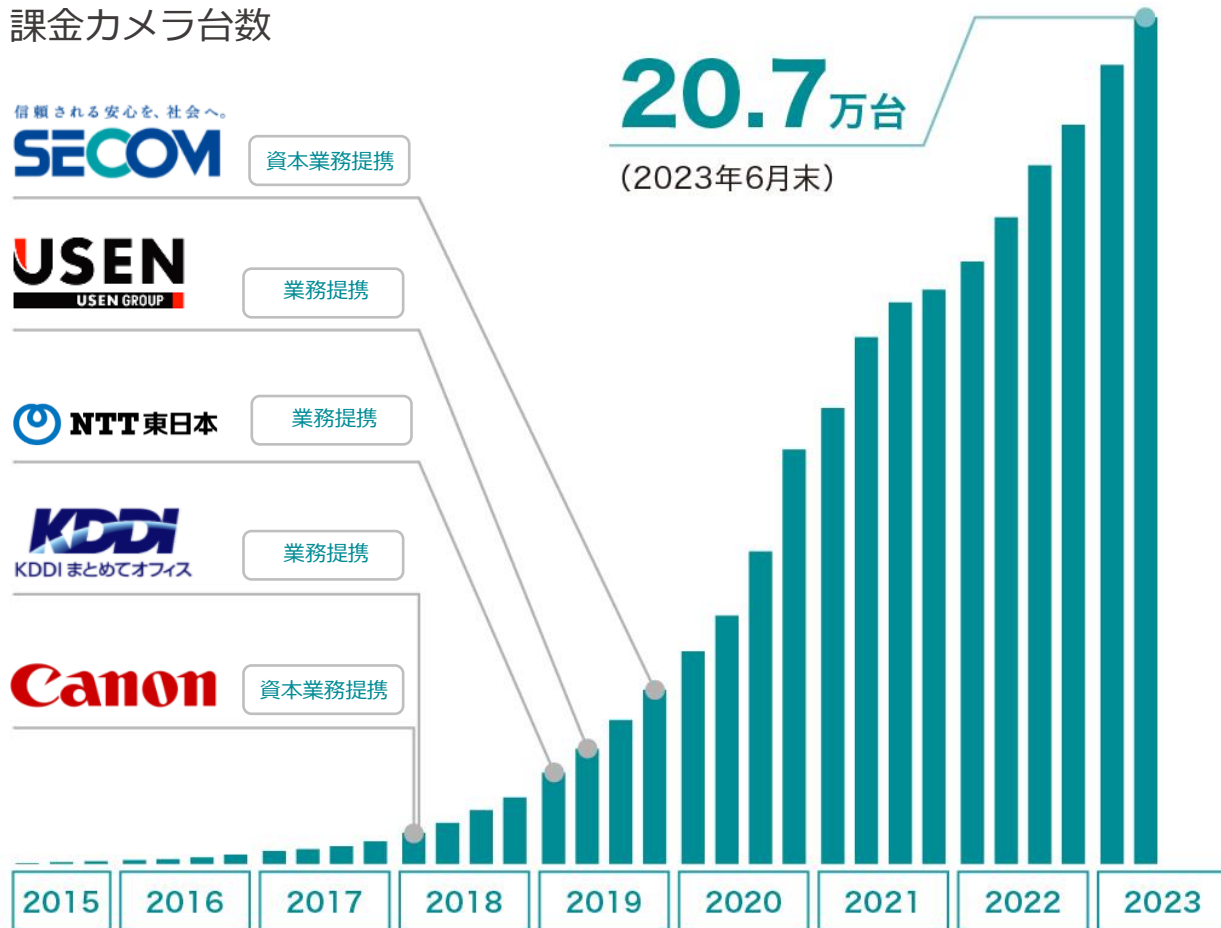


1. クラウドドリブンなカメラOS
2. 強固なセキュリティ
3. 誰もが使える高品質なUI・UX
4. 拡張性の高いプラットフォーム

# 沿革およびマーケットシェア

## 課金カメラ台数および主な提携実績

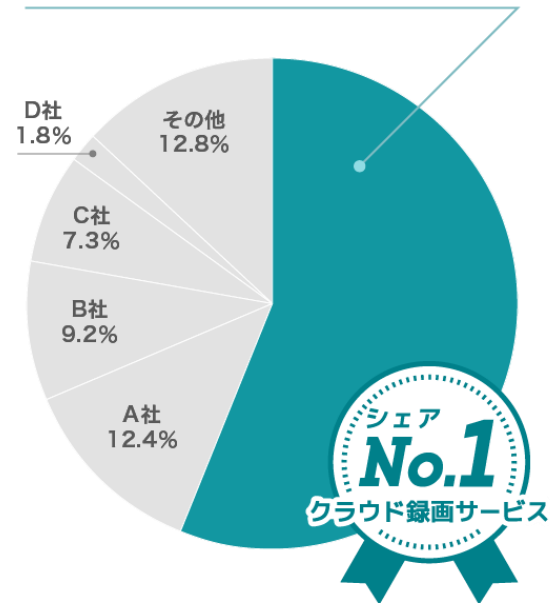
### 課金カメラ台数



## マーケットシェア

クラウドモニタリング・録画サービスシェア※

**safie** **56.4%**  
(2022年)



※出所：株式会社テクノ・システム・リサーチ「ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査（2022）」クラウドモニタリング・録画サービスの定義は、ネットワークカメラを利用したクラウドサービスであり、モニタリングもしくは録画サービス機能を提供している有料サービス。エンジン別カメラ登録台数ベース

# 当社の顧客基盤：大手企業を含む導入 / 活用実績（一部）

## 小売 / サービス



## その他店舗等



## 飲食店 / サービス



## 製造・プラント



## 建設



## 警備



## インフラ / 公共



## オフィスビル



## 物流



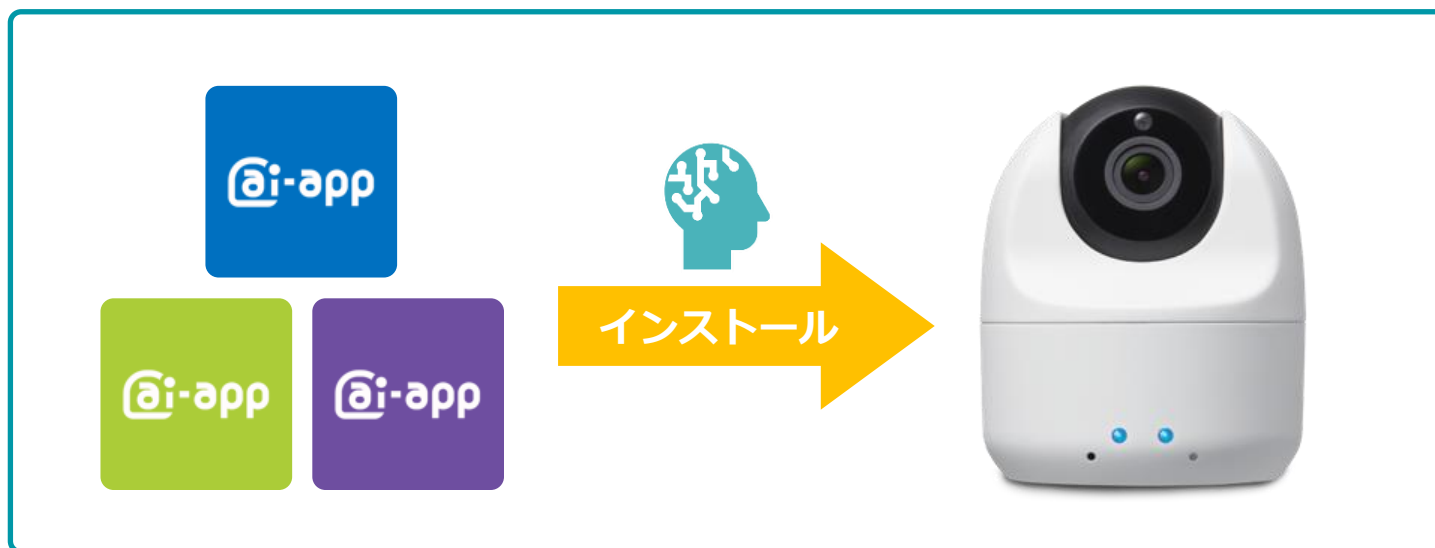
# 映像データを活用し、あらゆる産業の「現場DX」を推進



当社ビジョン：映像から未来をつくる

## “かしこくなる”カメラ

クラウドコア搭載。エッジAIを利用したカメラアプリ（AI-App※1）を、お客様の用途に応じて利用できるカメラ



※1：AI-App（アイアップ）



@i-app

## 店舗の管理者向けソリューション “Store People Detection Pack”

ストア ピープルディテクション パック

立ち入り検知



立ち止まったら検知します

通過人数カウント



人を数えます

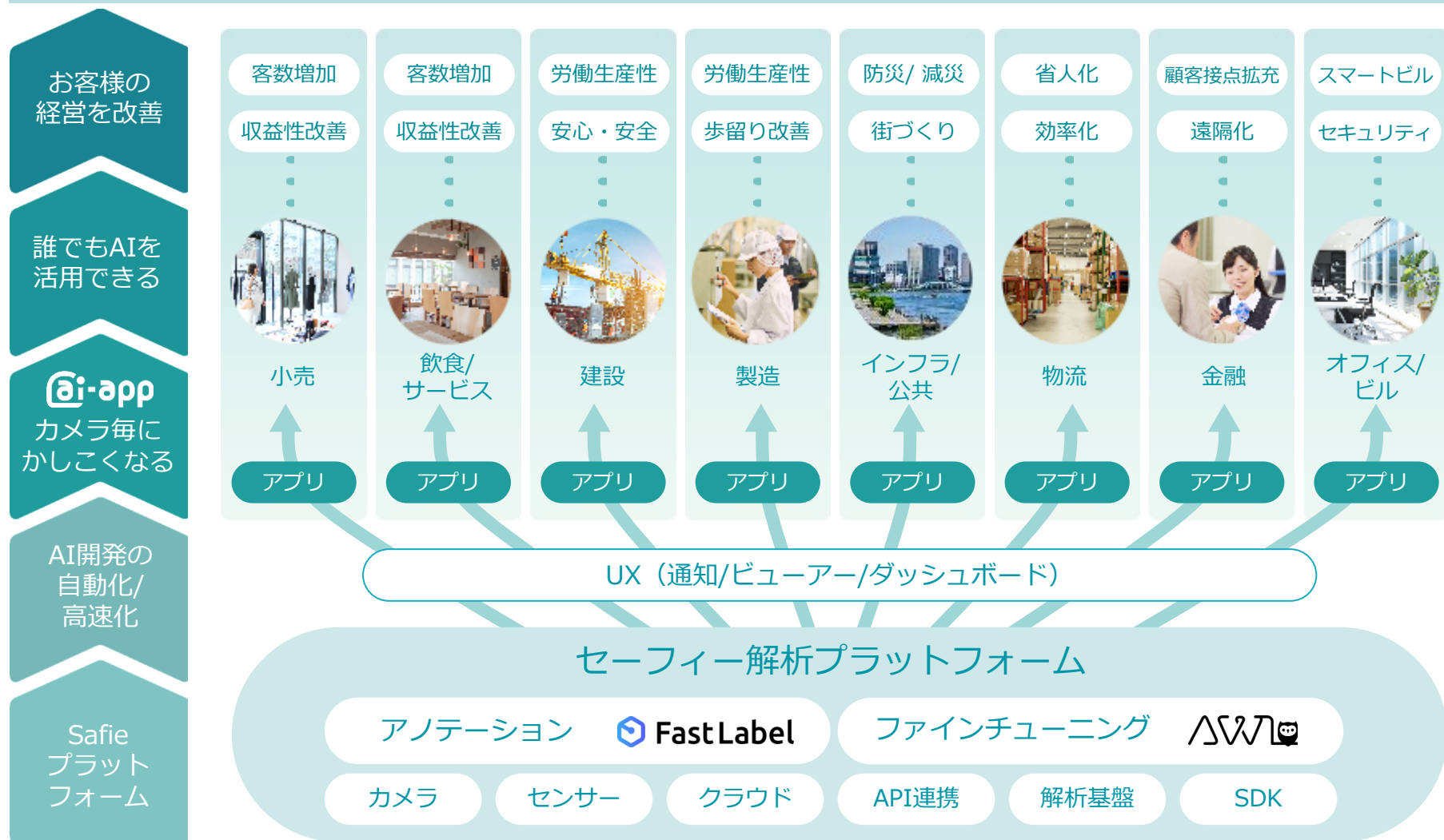
立ち入りカウント



人を数えます

# 様々な業界、ニーズに適合した多様なアプリの実装/展開が進展中

✓ AI開発及び最適化の自動化、高速化を実現し、多様なアプリをスピーディーに実現



# 映像プラットフォームの価値向上を推進させるため、出資も継続中

## safie ventures



今期も  
3社に  
出資!!

**TIMELEAP**

### 遠隔接客サービス

店舗の接客を遠隔地から行うことで最少人数で最大店舗の接客により店舗の省人化を実現



### ドローン

世界最小級のドローン開発とデータ解析を用いたインフラ点検・維持管理ソリューションを提供



**Liberaware**  
CO.,LTD.

### マーケティングプラットフォーム

視線や表情をスマートフォンカメラで測定し定量化する、マーケティングプラットフォームを開発、運営

**Viagate**

### これまでの投資実績

**AWA**  
エッジAI/MLOps

**FastLabel**  
アノテーション

**MUSVI**  
IoTデバイス  
(テレプレゼンスシステム)



※セーフィー株式会社より出資

# セーフイーは現場DXソリューションを提供するプラットフォーム



AI×IoTプラットフォーム

- セキュリティも万全 -

現場DXソリューション提供

- 顧客の課題解決に向けて伴走 -

防犯×生産性向上

- 人手不足への対応 -

AI×分析

- 学習データとして活用 -

導入時から日々進化

- AIによる機械学習 -



一般的なカメラベンダー

ハードウェア提供

ユーザー企業に対する立ち位置

機器提供

顧客への提供価値

監視・防犯

データの意味合い

保管するもの

サービスの発展性

導入時から陳腐化

- ハードウェアの陳腐化と並行する -

PDCA

## 2. 2023年12月期 第2四半期実績

1. 会社概要および事業概要
2. 2023年12月期第2四半期実績
3. 事業進捗アップデート

Appendix

## KPIハイライト

ARRは**80億円**（前年同期比+27.1%）、課金カメラ台数は**20.7万台**（前年同期比+31.0%）まで進捗

### ARR（前年同期比での変化）

- 直販商流を中心に成長し、前年同期比27.1%の成長

### 課金カメラ台数（前年同期比での変化）

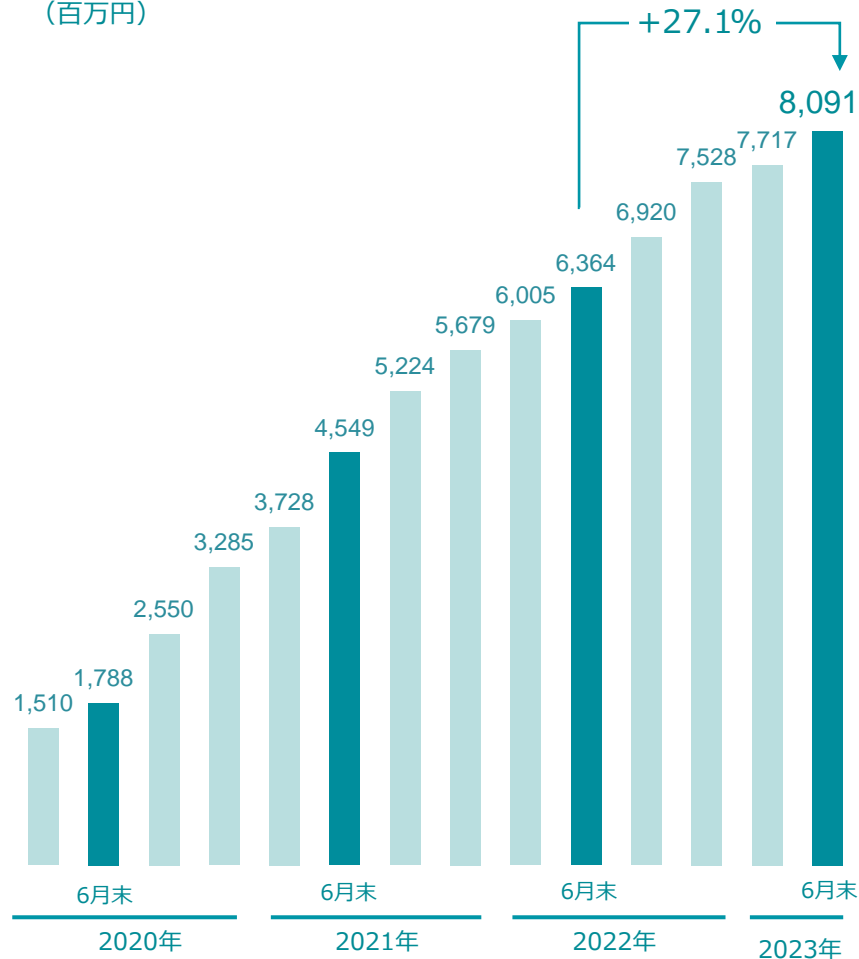
- Safie PROについては、直販商流および卸商流のどちらも堅調に進捗。特に直販のエンタープライズ案件が課金台数の成長を牽引
- Safie GO/Pocketについては、季節要因で進捗が停滞

# ARR及び課金カメラ台数の推移

✓ ARRは80億円を超え、課金カメラ台数は20.7万台に到達

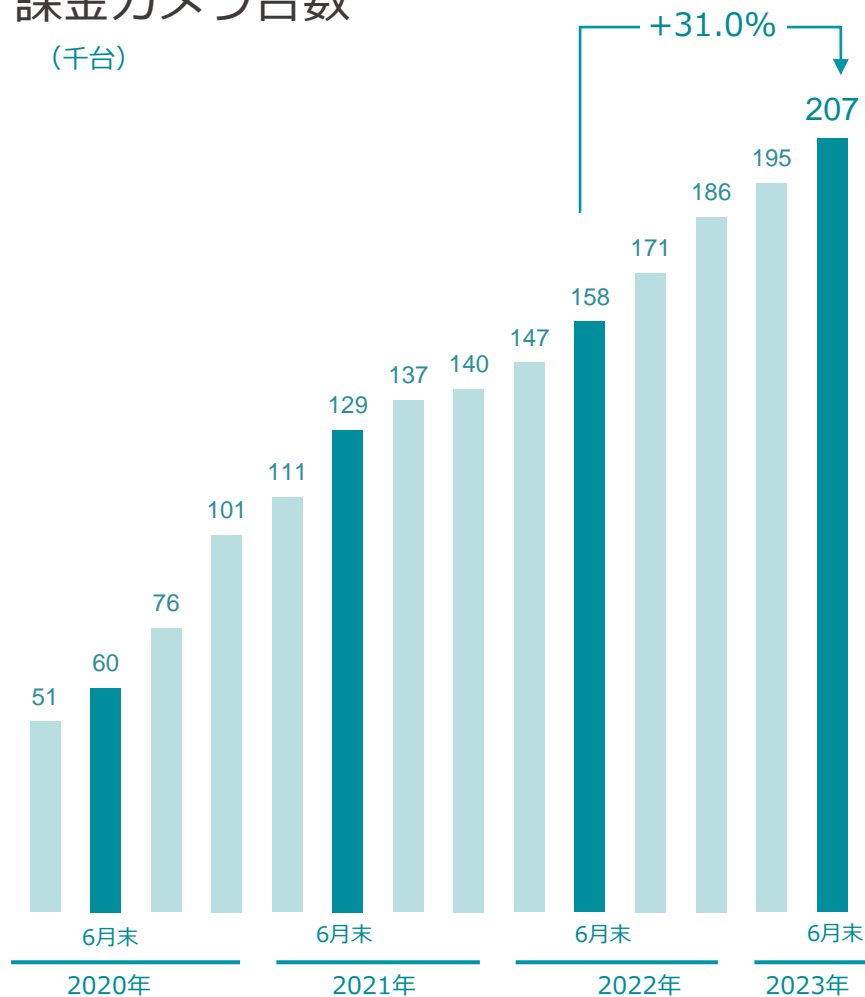
## ARR

(百万円)



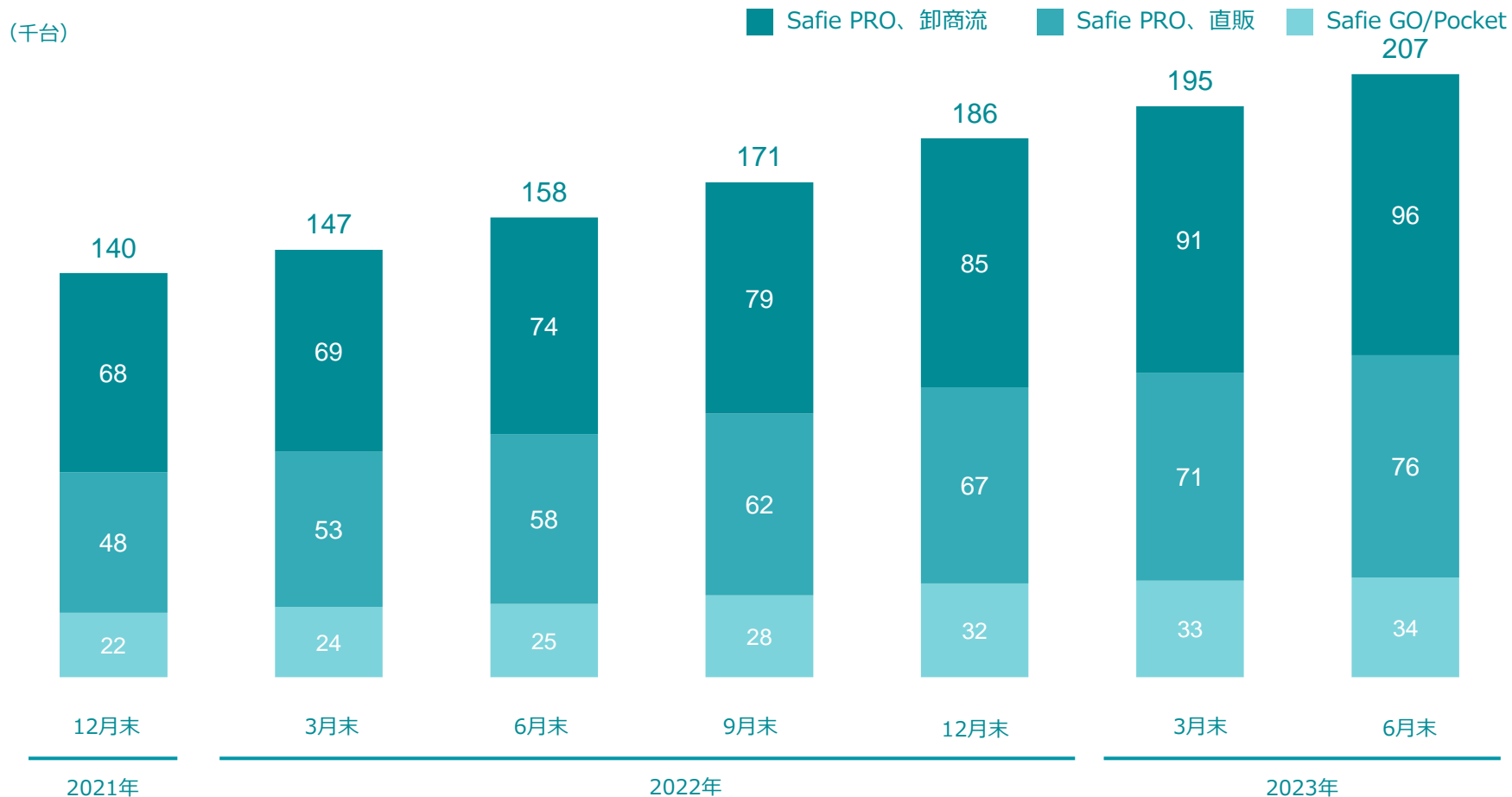
## 課金カメラ台数

(千台)



## 商流別課金カメラ台数の推移

- ✓ Safie PROについては、直販商流および卸商流のどちらも堅調に進捗  
特に直販のエンタープライズ案件が課金台数の成長を牽引
- ✓ Safie GO/Pocketについては、季節要因で進捗が停滞

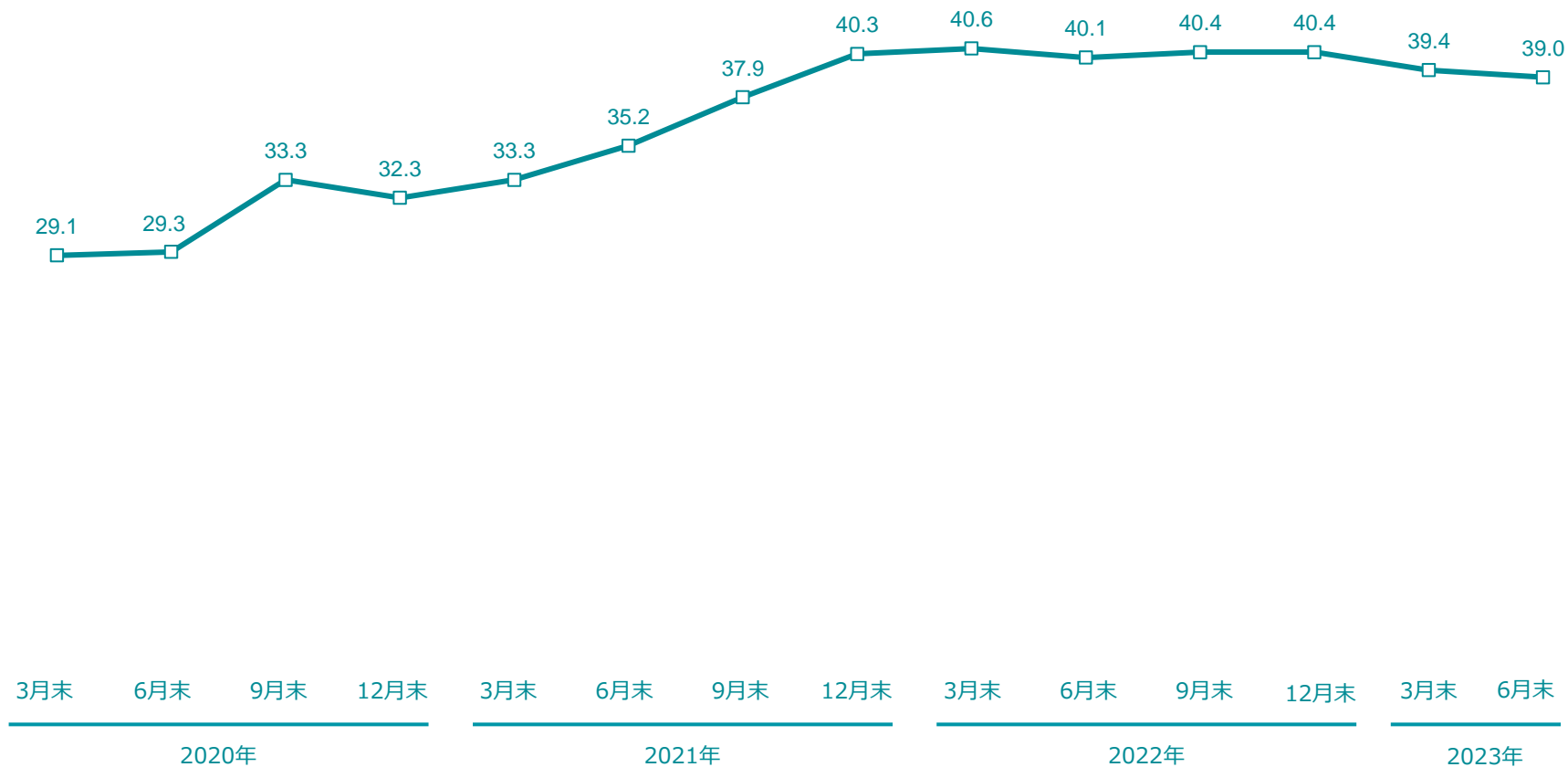




# ARPC（カメラ1台あたりの単価）※1 の推移

✓ 高単価のSafie GO/Pocketが台数に占める割合が低下したが、平均単価は横ばい

(千円)



※1：ARPC: Average Revenue per camera。ARPC=ARR÷課金カメラ台数

## 2023年12月期第2四半期決算 ハイライト

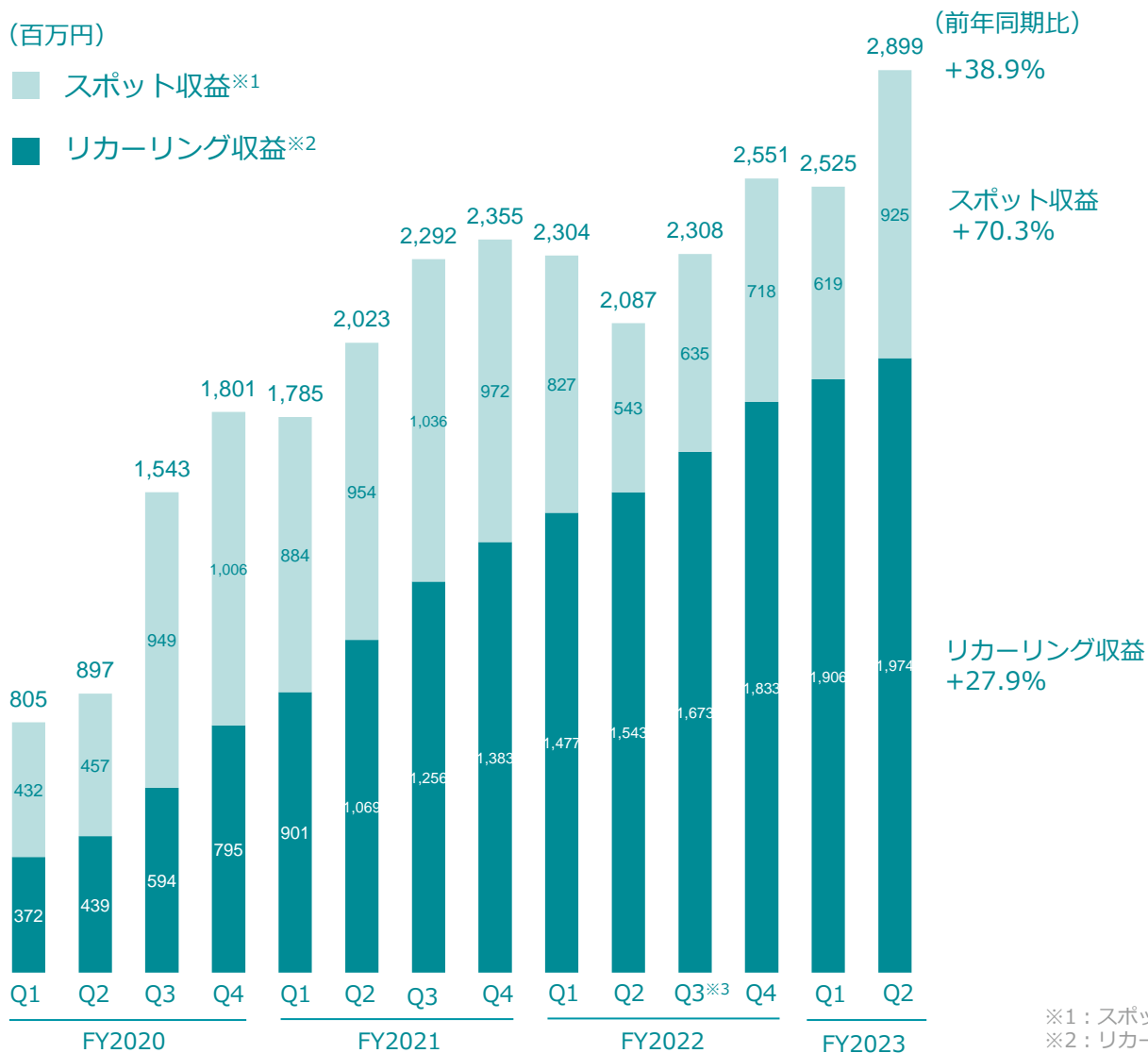
- 当四半期の売上高は**28.9億円**と、**前年同期比+38.9%**、**直前期比で+14.8%**
  - スポット収益は前年同期比**+70.3%**
  - リカーリング収益は前年同期比**+27.9%**
- 売上総利益は**13.9億円**、売上総利益率は**47.9%**で着地
  - 売上総利益率が高いリカーリング収益の売上割合が減少し、全体の売上総利益率が低下したものの、売上総利益は大きく伸長
- **2.56億円**の営業損失を計上したものの、前年同期比で赤字幅は縮小
  - 業界攻略に向けたマーケティング投資、採用を含む人材投資、オフィス移転関連費用を主に計上

# 売上高の推移

(百万円)

■ スポット収益※1

■ リカーリング収益※2



■ 大型案件により、スポット収益が改善し925百万円の着地

- 今回のスポット収益は、カメラ販売およびカメラ設置工事等が好調

■ リカーリング収益は、1,974百万円で着地

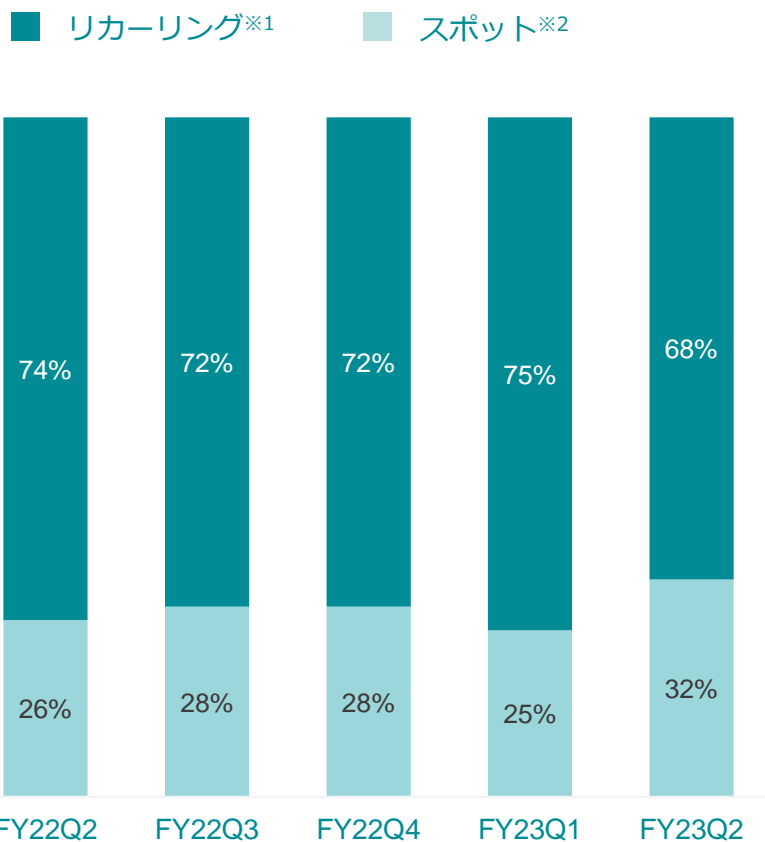
- 前年同期比27.9%、431百万円の増収
- 直前期比3.6%、68百万円の増収

※1：スポット収益には物販、カメラ設置工事等が含まれる  
 ※2：リカーリング収益には、クラウド、アプリケーション、レンタル、SIM等が含まれる  
 ※3：FY2022Q3より連結決算へ移行

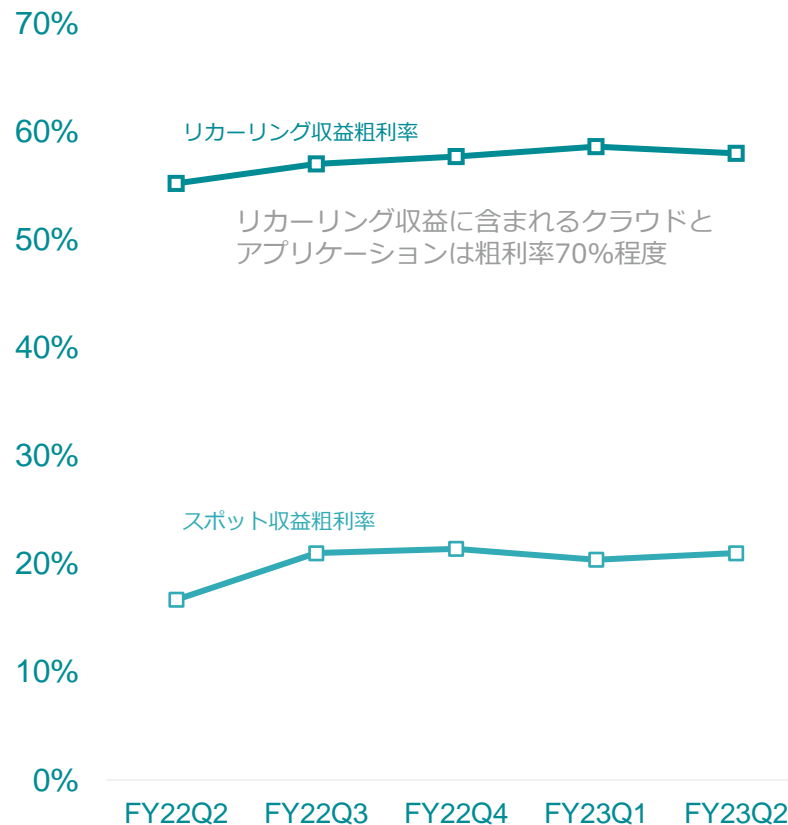
# 売上高構成比およびスポット／リカーリング粗利推移

✓ 高粗利率のリカーリング収益の売上割合が減少

## 売上高構成比（四半期）



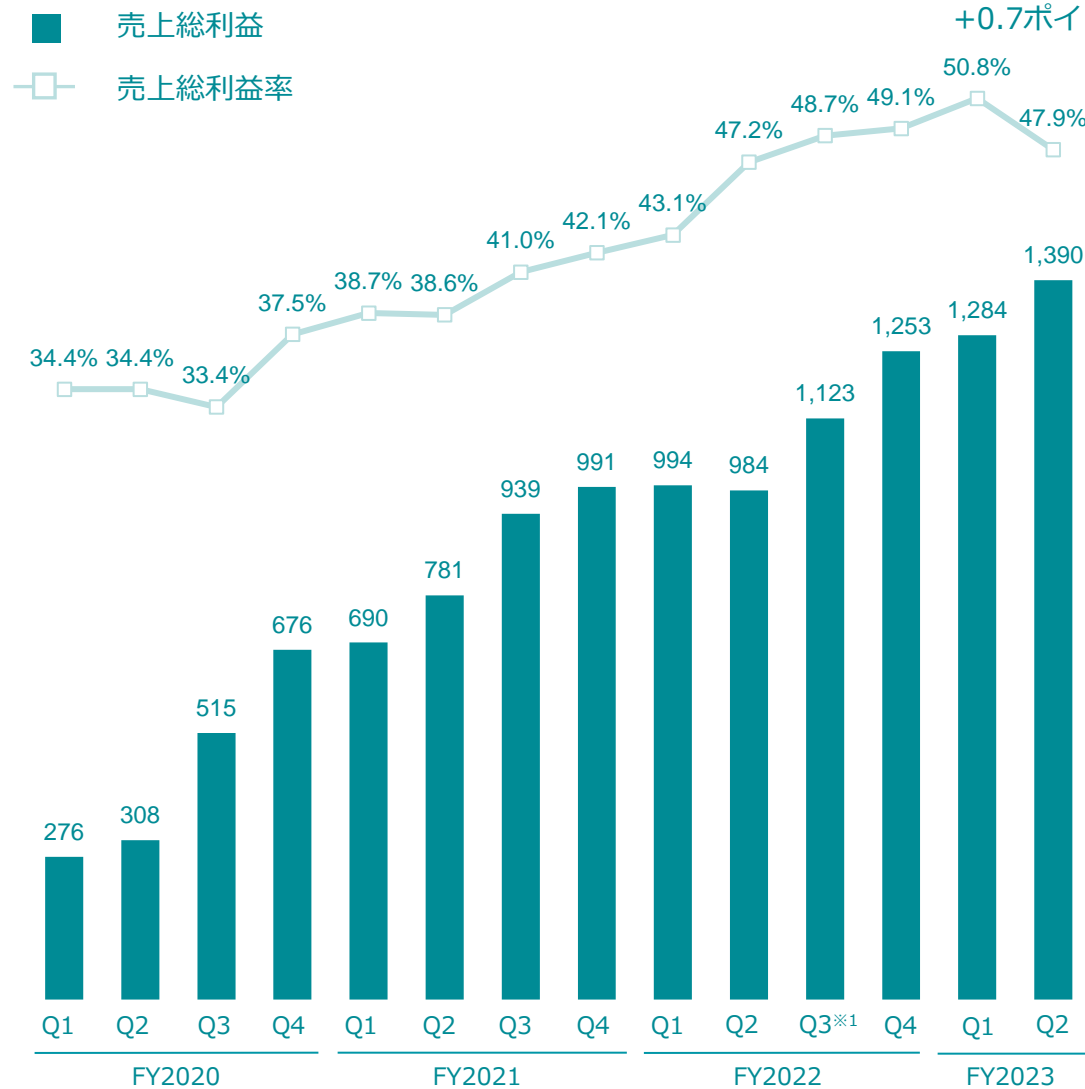
## 粗利率の推移



※1：リカーリング収益には、クラウド、アプリケーション、レンタル、SIM等が含まれる  
※2：スポット収益には、物販、工事等が含まれる  
※3：FY2022Q3より連結決算へ移行

# 売上総利益の推移

(百万円)



(前年同期比)

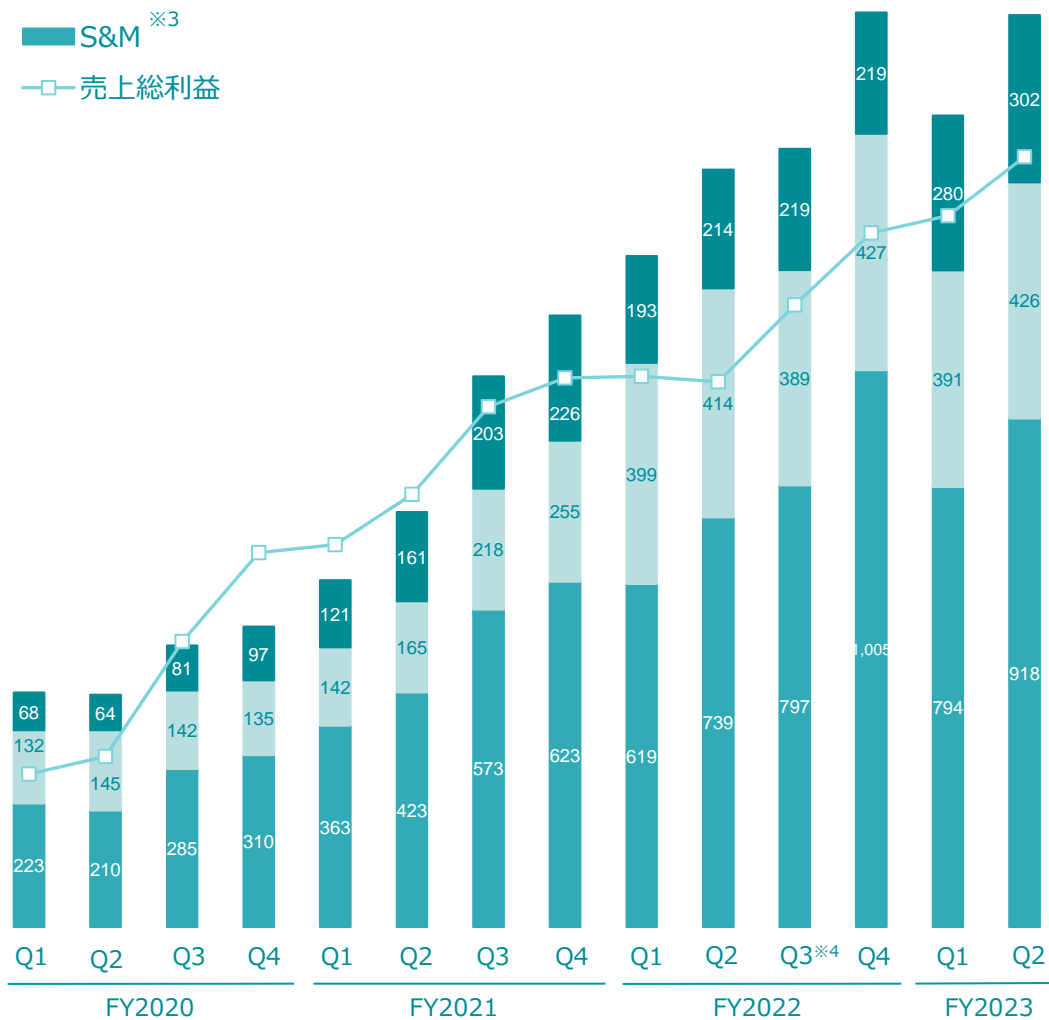
+0.7ポイント

- 売上総利益率は前年同期比+0.7ポイント改善、直前期比-2.9ポイントで着地
- 売上総利益額は前年同期比406百万円増加、直前期比106百万円増加
- 高粗利率のリカーリング収益の売上割合が減少し、全体の粗利率も低下したものの、売上総利益は大きく伸長

※1：FY2022Q3より連結決算へ移行

# 販売費及び一般管理費の推移

(百万円)



■ 業界攻略に向けたマーケティング投資、採用を含む人材投資、オフィス移転関連費用を主に計上

- G&Aは直前期比 22百万円増加
- R&Dは直前期比 35百万円増加
- S&Mは直前期比124百万円増加

※1：G&Aとは、General and Administrative。管理部門の人件費やそのほか関連経費及び共通費等の合計

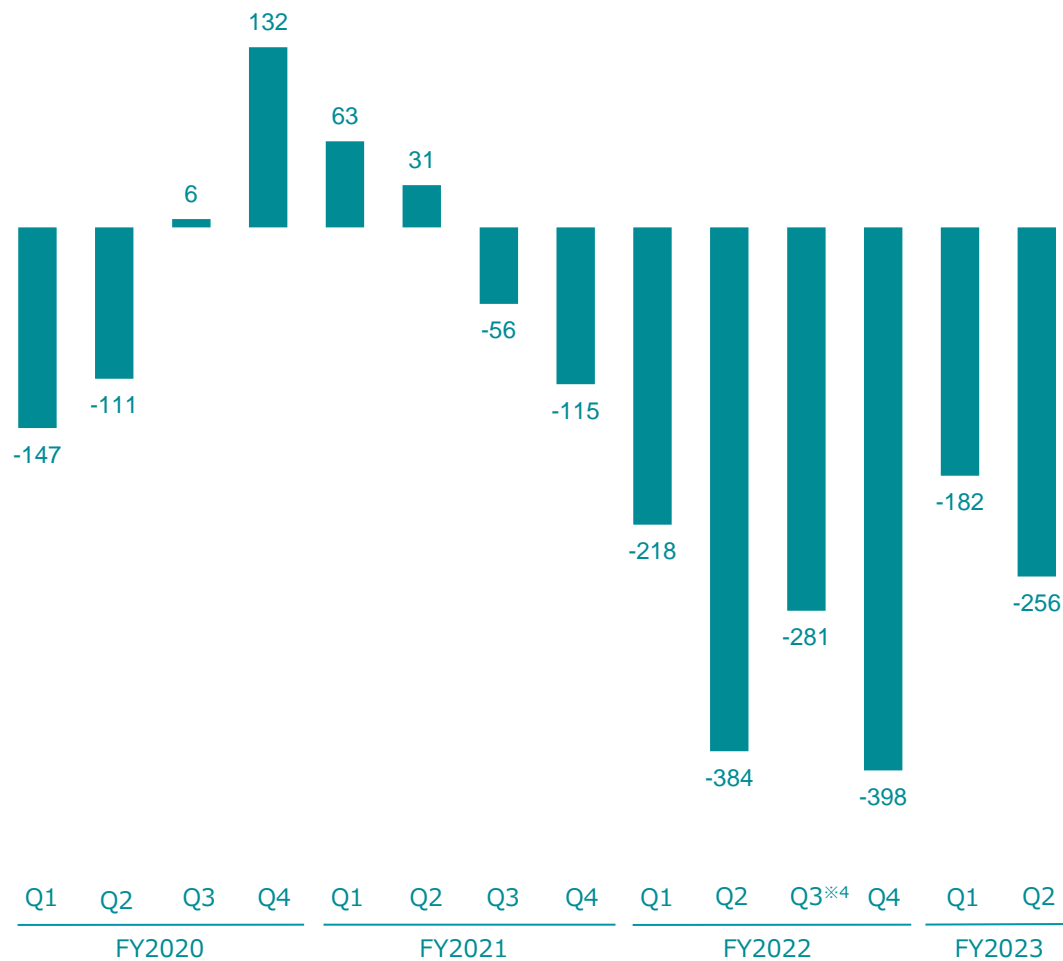
※2：R&Dとは、Research and Development。研究開発にかかるエンジニア人件費、外注費用、そのほか関連経費及び共通費等の合計

※3：S&Mとは、Sales and Marketing。販売促進費、広告宣伝費、セールス関連人件費、そのほか関連経費及び共通費等の合計

※4：FY2022Q3より連結決算へ移行

# 営業利益の推移

(百万円)



- 結果として、当第2四半期は256百万円の営業損失を計上
  - 前年同期比で128百万円の改善

※1：FY2022Q3より連結決算へ移行

## 3. 事業進捗アップデート



1. 会社概要および事業概要
2. 2023年12月期第2四半期実績
3. 事業進捗アップデート

Appendix



## 達成するための優先順位

- ✓ 現場DXの推進に向け、各業界の攻略とラインナップの強化、およびアプリケーション開発と企業との連携に取り組み中

ARR	
 課金カメラ台数	 課金カメラ一台あたり のARR (ARPC※1)
現在の優先度	☆☆☆
将来の優先度	☆☆☆☆
アクション	<ul style="list-style-type: none"><li>● 映像×AIを活用したアプリケーション</li><li>● スタートアップ企業との連携</li></ul>

※1 : Average revenue per camera

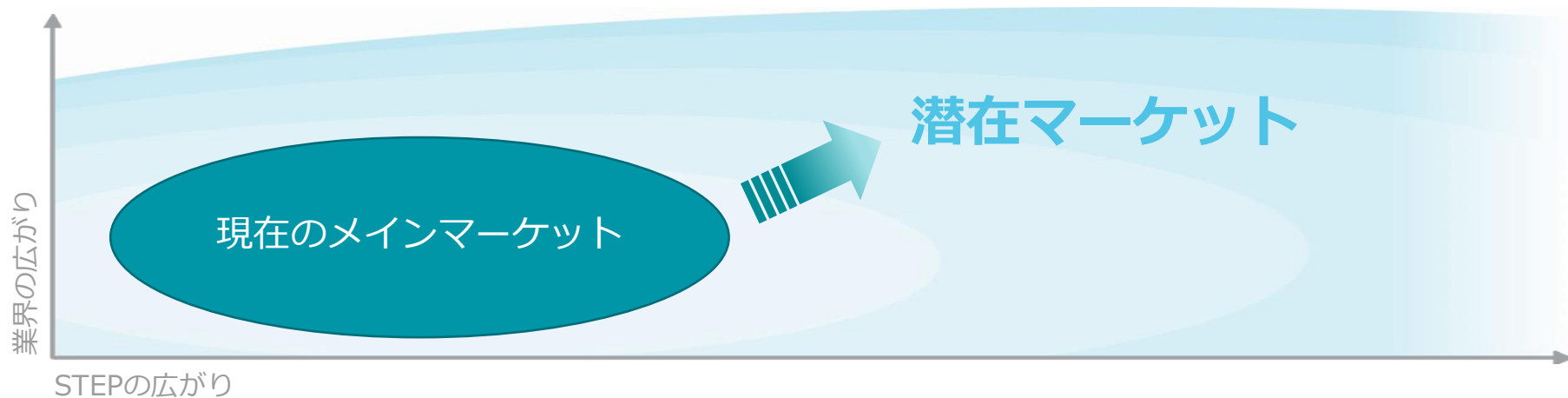
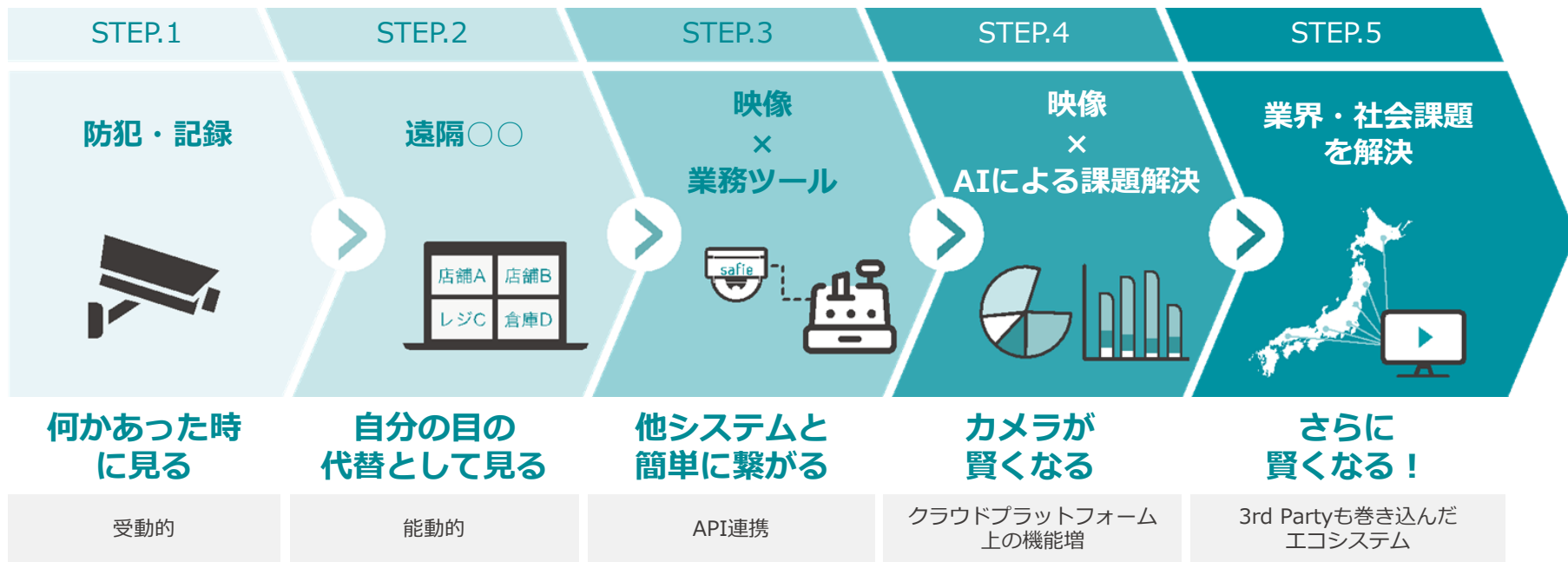
# 達成にむけた成長テーマ



現場  
DX  
Powered by safie



# クラウドカメラを使った現場DXの5ステップ



# ウェアラブルカメラの活用で安全担保、抑止から教育まで

警備



## 導入背景

- ・機械警備部門では、パトロール隊員の通話による音声遠隔サポートだけでなくライブ撮影した映像を教育に使いたかった
- ・鉄道警備部門では強化施策の1つとして警備員のカメラ装着を進めていた

## 活用方法

- ・警報発生やクライアントからの出動依頼を受けて現場に向かうパトロール隊員がSafie Pocket2を装着
- ・高速鉄道に乗車する警備員がSafie Pocket2を携行
- ・クライアントである鉄道事業者が映像をモニタリング

## 導入効果

- ・パトロール隊員は夜間でも単独行動が多くリアルタイムに映像にて後方支援してくれる安心感は大きい
- ・「防犯カメラ作動中」と表示したカメラの装着によるトラブル抑止効果があった
- ・インシデントが発生した際、列車外部にいる関係者にもリアルタイムかつ齟齬なく状況を知らせることに寄与



現場DX in 5 steps >>>>  
Powered by safie



STEP.2  
遠隔〇〇





# 建設業界の 現場DX



# 建設業は24年問題による人手不足解消/生産性向上が急務



## －日本の働き方改革による建設業への影響－

### 建設業の24年問題について

2019年4月に「働き方改革関連法」が施行。  
建設業の場合、短期間での労働環境改善は難しいと判断され、  
5年間の猶予期間が設けられ、2024年4月から適用。

- 1** 時間外労働の上限規制  
「月45時間、年360時間」の上限が罰則付きで法律に規定
- 2** 正規・非正規社員の同一労働同一賃金
- 3** 月60時間超の時間外割増賃金率引上げ  
→ 2023年からの適用。割増賃金率が25% → 50%に引上げ



# 国土交通省は人手不足解消/生産性向上に向け遠隔臨場を推奨

## 遠隔臨場の概要

### 定義

国土交通省が推奨している、  
カメラ（ウェアラブルカメラ等）によって取得した  
映像及び音声を利用し、遠隔地からWeb会議  
システム等を介して臨場を行うこと

### 従来との比較

#### Before

発注者が建設現場に  
出向いて、「材料確認」  
「段階確認」「立会」

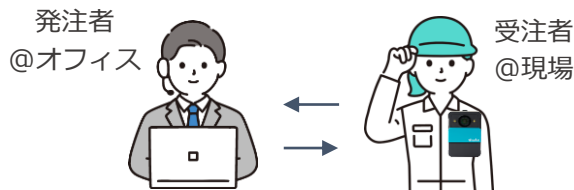


#### After

発注者は現地に出向かず、  
受注者が撮影した映像に  
より、遠隔で確認/立会

### 遠隔臨場のメリット

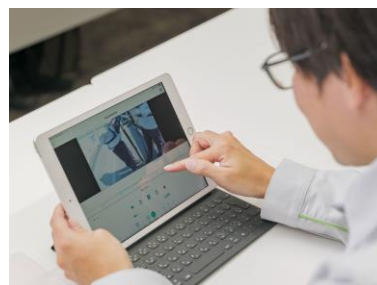
移動時間や待機時間  
にかかるコスト削減！



## セーフィーを活用した遠隔臨場の事例



### NEXCO東日本



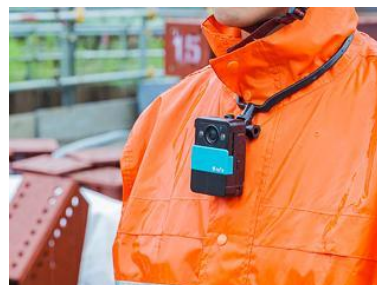
担当者が遠隔から確認



現場で施工業者が  
試験の様子を撮影



### 大林組



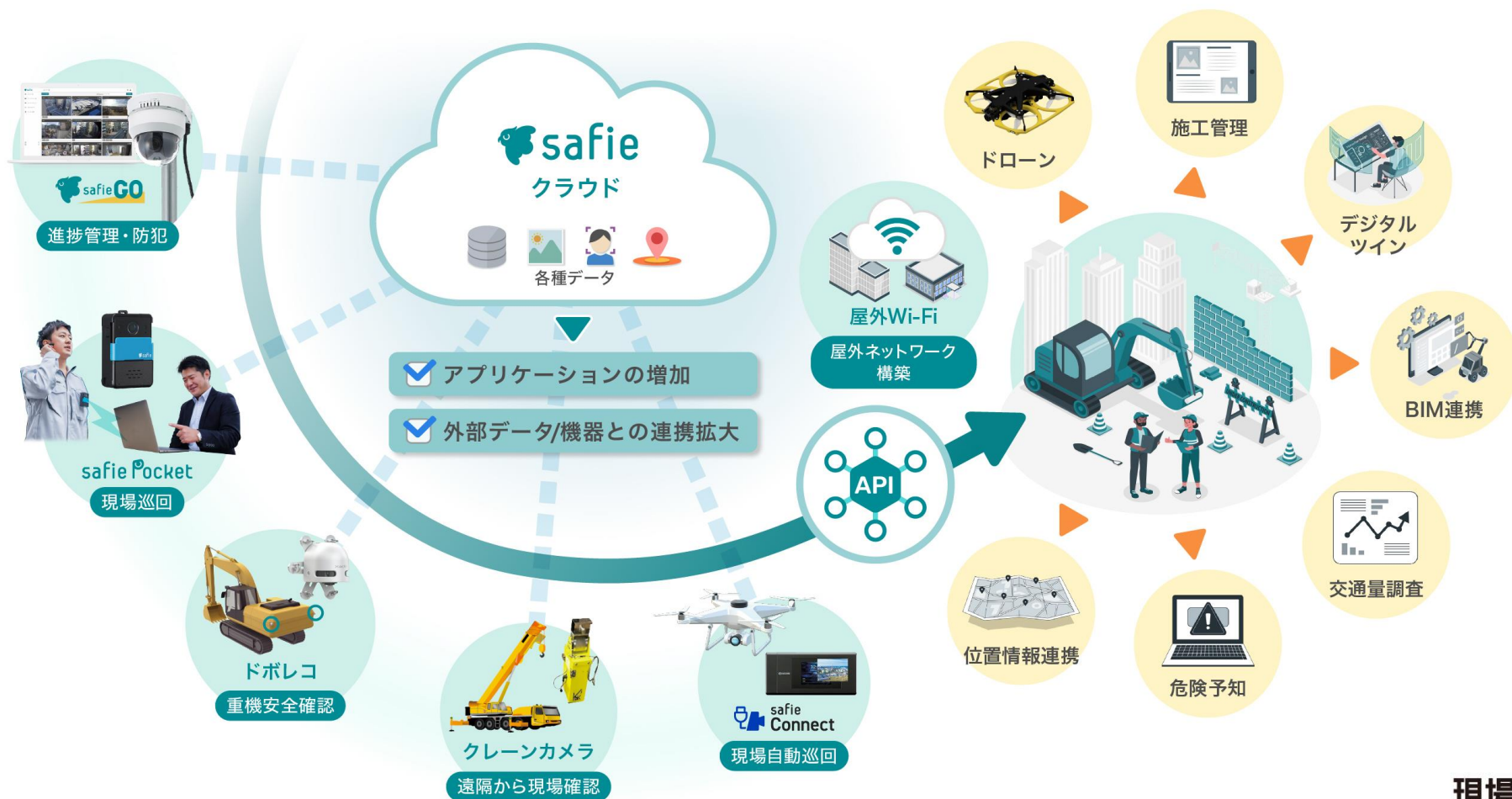
80台以上の  
Safie Pocket2を現場に導入



映像で発注者と  
遠隔臨場を実施

# 建設業界はデジタルツインによる現場DXがテーマ

遠隔臨場・遠隔巡視・安全管理から実現し、今後は映像×AIによるデジタルツイン等を実装



※当社の提供内容は、カメラ及び連携のためのAPIのみであり、システム全体の提供はしていません



# クラウドカメラの映像データ×AI解析による交通量調査



→Case of

交通量調査



## 導入背景

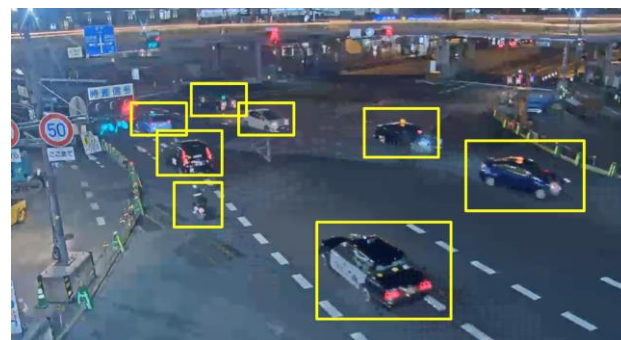
- ・ 調査員を手配し、目視によって通行車両台数を計測集計の上レポート化するなど費用と工数がかかっていた
- ・ 調査員がすぐに手配できるとは限らず急な調査ニーズに対応しづらい他、費用を考えると調査回数を簡単に増やすことはできなかった

## 活用方法

- ・ 工事現場に設置してある「Safie GO」2台の画角を調整撮影した映像データをAI解析することでこれまでの知見やノウハウを活用

## 導入効果

- ・ 調査で得た結果は次の施工計画に活かすことが可能
- ・ 交通量調査にかかる手間・コストが軽減され単発ではなく定常的な交通量調査を実施し施工計画の効果検証がしやすくなる



現場DX  
Powered by safie

in 5 steps >>>>



STEP.4  
映像×AI



# リアルタイムの映像確認で現場の安全管理を強化



**奥村組**  
OKUMURA CORPORATION

## 導入背景

- ・クラウドカメラは利用目的が多様化しているほか、国土交通省による遠隔臨場の試行が拡大されるなど導入の必要性が高まっていた
- ・一部導入されていたが、個別現場や部門など特定の関係者の利用にとどまっていた
- ・現場監督は優先度問わず現場巡視を実施する必要があった

## 活用方法

- ・効率的な現場管理の実現を目指し、クラウドカメラを全工事所に設置
- ・現場状況をリアルタイムで確認することにより工事の安全管理、進捗管理を効率化した
- ・店内の支援部署や安全部門に大型モニターを設置し常時、工事所を確認することが可能に

## 導入効果

- ・現場のリアルタイムの状況をカメラで一元管理できるため、火器利用や不安全行動を監視し、未然に事故を防止することが可能に



**現場DX** in 5 steps >>>>  
Powered by safie



STEP.2  
遠隔〇〇



# ドローンカメラ映像のリアルタイム共有で遠隔業務の利便性向上



→ Case of

 関西電力株式会社

 safie  
Connect

## 導入背景

- ドローンカメラの映像で難所や高所の状況を確認していたがリアルタイムで複数拠点に安定配信することが難しく関係者の現場立会いが必要とされていた
- 撮影時に、関係者の意思決定に必要な映像が撮れておらず再撮影するという手戻りが発生することも

## 活用方法

- 「Safie Connect (セーフィー コネクト)」の活用によりドローンカメラの映像をリアルタイム共有

## 導入効果

- リアルタイムに共有された映像を関係者で確認遠隔から指示を出しつつ点検・確認作業でき、利便性が向上
- 現場に赴かずとも様子を確認できるためコストや時間をセーブでき業務効率化を実現
- 作業環境は良好か、正しい作業は行われているかなど、安全管理・安全巡回に寄与



京セラ製デバイスにより  
HDMI出力デバイスの映像を  
Safieクラウドに伝送することが可能に



**現場DX** in 5 steps >>>>  
Powered by safie

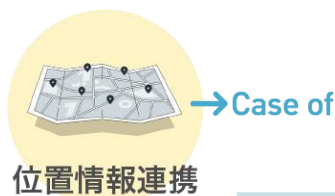


STEP.3  
映像×業務ツール





# 映像と地図の一元管理で安全管理・業務効率性向上を実施

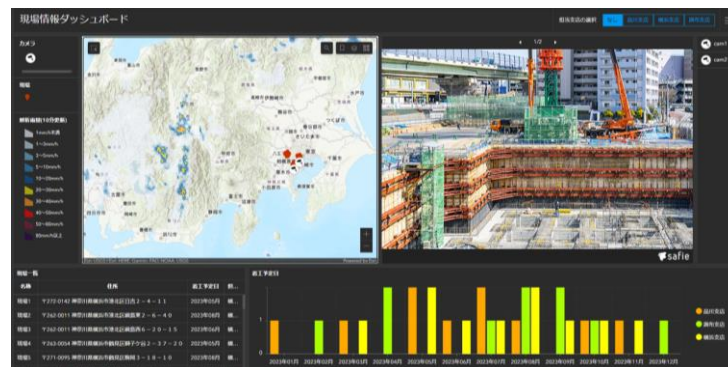


## 連携背景

- ・ 建築・土木業や社会インフラ管理業では位置情報に関する多種多様な情報を持ったデータを地図上で統合的に管理・加工するGIS（地理情報システム）の活用が広がっている

## 連携メリット・効果

- ・ GISプラットフォーム「ArcGIS®（アークジーアイエス）」とAPI連携することで、地図上の位置と連動したカメラの映像をリアルタイムに確認
- ・ 位置情報だけでなく、映像、気象情報、気温なども一元管理し、通常業務並びに緊急時においても正確で迅速な予測や判断を助け、効率的かつ安全に現場業務を遂行することができる



現場DX  
Powered by safie

in 5 steps >>>>



STEP.3

映像×業務ツール



# BIM/CIMモデルを統合したデジタルツインによる遠隔臨場の実現



→ Case of

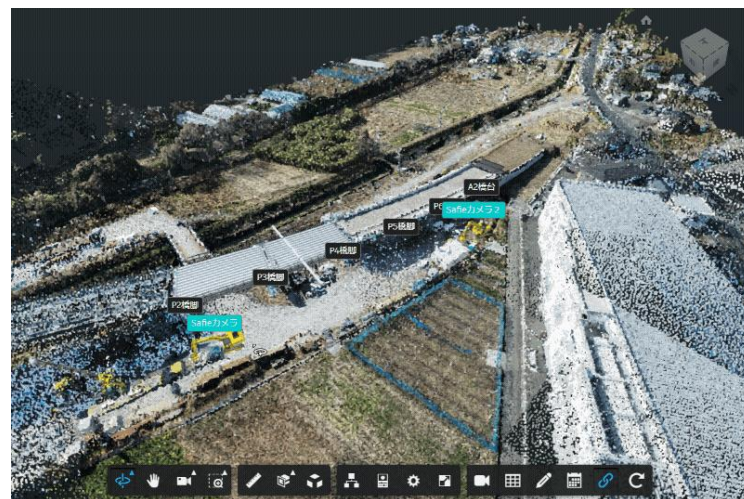
## KOLC+

### 連携背景

- ・ 人材不足の課題に直面する中、現場の業務生産性を向上させるための試行錯誤が続いている
- ・ 現実空間からIoTやAI、ARなどの技術を用いて収集した膨大なデータをもとに構築するデジタルツインに注目が集まっている

### 連携メリット・効果

- ・ BIM/CIM共有クラウド「KOLC+」とAPI連携することでBIM/CIMモデル、点群データ、リアルタイム映像をクラウド統合したデジタルツインによる遠隔臨場の実現
- ・ デジタルツインに集約された最新情報を基に工事管理者が現地の事務所や本社・支店から、現場の隅々の状況を間近で確認できる遠隔臨場を実現
- ・ 異常やトラブルが発生した際、遠隔地からでも正しい状況判断・原因究明を実施



**現場DX**  
Powered by safie

in 5 steps >>>>



STEP.3  
映像×業務ツール



# 建設業界で活用されているカメララインナップ

## Safie GO シリーズ



セーフィー ゴー



Safie GO 180

Safie GO PTZ Plus

## Safie Pocket シリーズ



セーフィー  
ポケットシリーズ



Safie Pocket2 Plus

Safie Pocket2

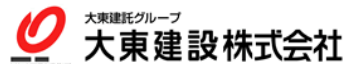
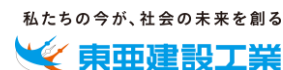
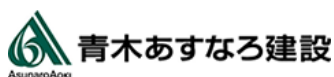
## 導入企業



OBAYASHI

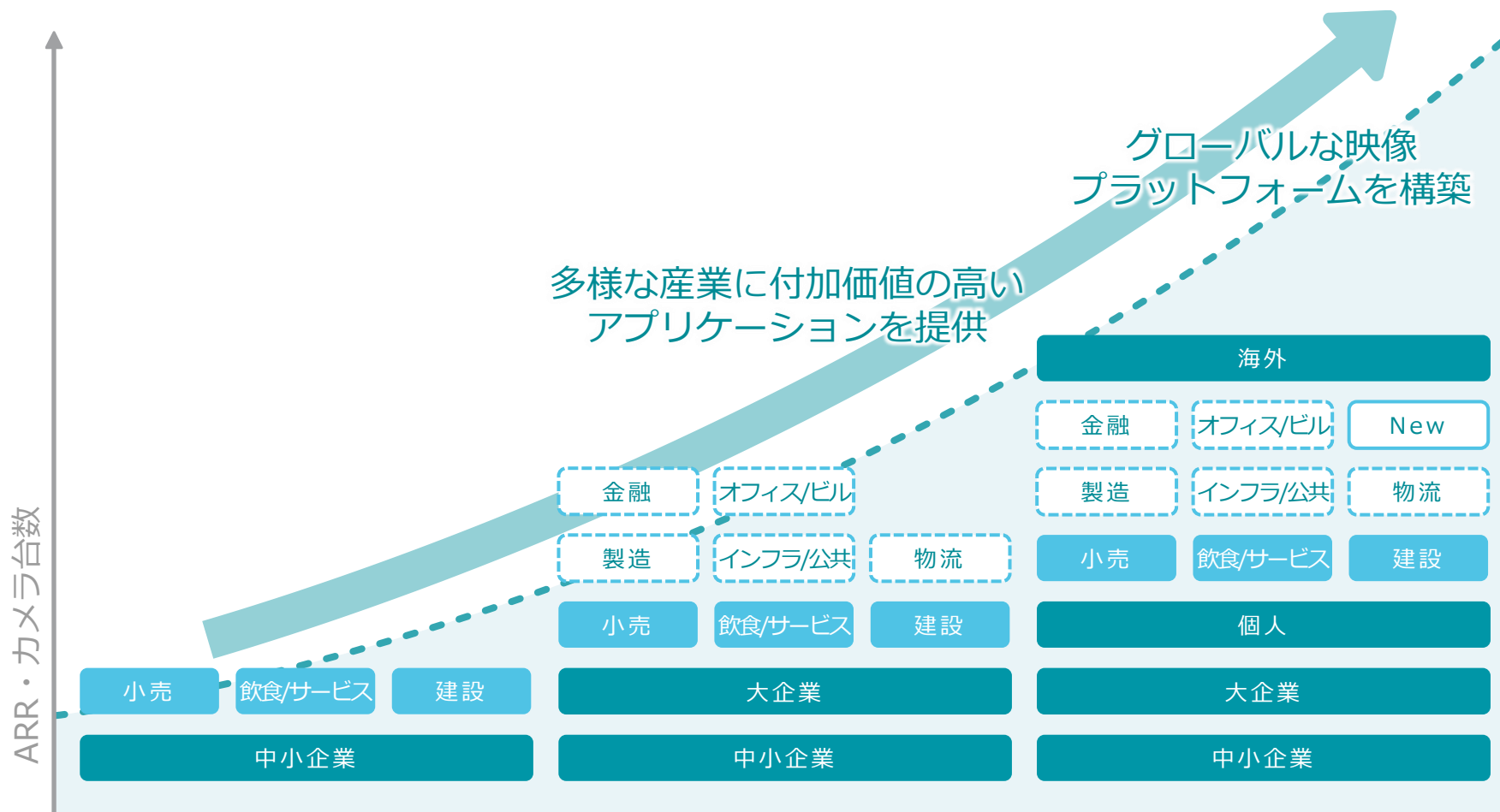


For a Lively World



# 建設業界を含めて多様な業界の現場DXを推進

✓ 既にセーフティーカメラを活用いただいている業界は広がりつつある



映像から未来をつくる





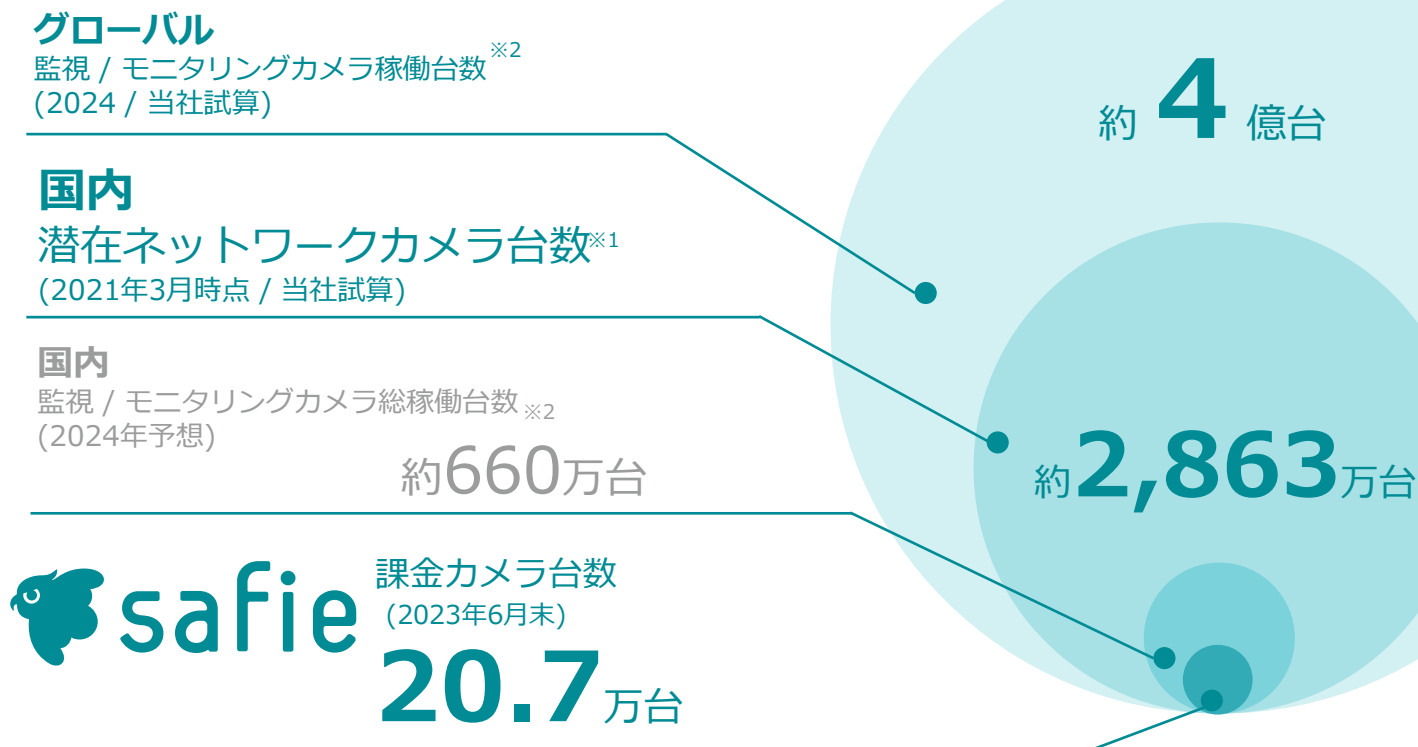
# Appendix

1. 会社概要および事業概要
2. 2023年12月期第2四半期実績
3. 事業進捗アップデート

## Appendix

# ビジネスの成長に伴い拡大する広大なTAM

✓ 国内では約2,863万台の成長余地、さらにグローバル市場に大きな開拓余地が存在



※1：ネットワークカメラとは、IP機能を内蔵し、単独でインターネット網に接続して使用可能な業務用カメラを指す(出所：矢野経済研究所)。各種資料を基に、一定の仮定を置いて算出した当社試算値。算出方法については、AppendixのP.42を参照

※2：監視/モニタリングカメラとは、監視カメラ製品を指し、IPカメラとアナログカメラに大別される。(出所：矢野経済研究所) 矢野経済研究所「2020年度版監視カメラ市場予測と次世代戦略」に記載の出荷台数を基に、一定の仮定を置いて算出した当社試算値。

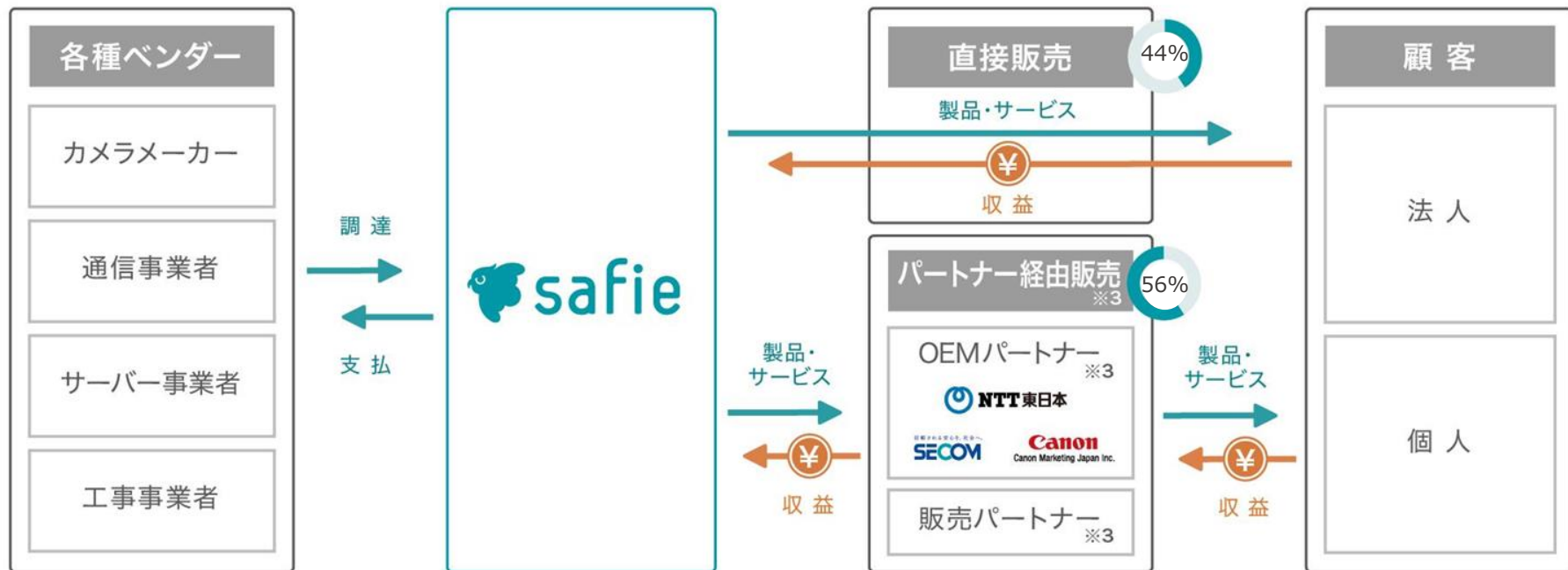
# 当社が試算するTAM

戦略	業界	潜在拠点数	想定設置台数※1	潜在カメラ台数
現在のメインマーケット	飲食業	142万拠点※2	約4台	約567万台
	小売業	99万拠点※3	約4台	約396万台
	サービス業	47万拠点※4	約4台	約189万台
	建設業	21万拠点※5	約5台	約105万台
今後拡大していくマーケット	製造・物流業	5万拠点※6	約10台	約45万台
	インフラ/公共業	200万拠点※7	約3台	約601万台
	金融業	25万拠点※8	約3台	約75万台
中長期的な開拓余地	駐車場	534万拠点※9	約1台	約534万台
	病院・介護施設	19万拠点※10	約5台	約97万台
	教育施設	8万拠点※11	約10台	約83万台
	事務所	19万拠点※12	約3台	約57万台
	マンション	12万拠点※13	約3台	約36万台
	エレベーター	77万拠点※14	約1台	約77万台
	合計	1,208万拠点	-	約2,863万台

※1：1拠点あたり想定設置台数；過去の事業経験等を踏まえた当社の試算値、※2：厚生労働省「令和元年度衛生行政報告例」に記載の飲食店営業施設数（2019）、※3：経済産業省「平成28年経済センサス-活動調査結果（卸売業、小売業）」に記載の小売業の事業所数（2016）、※4：「アミューズメント産業界の実態調査平成29年度」に記載のアミューズメント施設店舗数（2017）、警察庁公表資料に記載のパチンコ/パチスロ店舗数（2018）、厚生労働省「衛生行政報告例」に記載のホテル数（2017）及び旅館数（2017）及び公衆浴場数（2018）及び理容室、美容室数（2018）、文部科学省「社会教育調査H30年度・中間報告」に記載の博物館数（2018）の合計、※5：国土交通省「令和元年建設工事受注動態統計調査報告書」に記載の公共機関からの受注工事件数（2019）、※6：国土交通省「建築統計年報」「土地・建物基本調査」に記載の工場・作業場（2018）及び物流センター推定数（2013）及び大型物流センター推定数（2013）の合計、※7：資源エネルギー庁公表の自然エネルギー発電設備総数（2019）、「都市・地域交通年報」に記載の鉄道等の駅数（2018）、水道技術研究センター「水道ホットニュース」に記載の水道・浄水場数（2014）、国土交通省公表の下水道処理場数（2015）及び河川管理施設数（2014）の合計、※8：「平成30年版決済統計年報」に記載の金融（銀行店舗数：2018-2019）、全国信用組合主要勘定及び系統信、用事業の現状と農林中央金庫の役割 他に記載の金融（ATM数：2018）の合計、※9：一般社団法人全日本駐車協会「全国駐車場整備状況調査2020」に記載の駐車場総共用台数（2018）、※10：厚生労働省「令和元年医療施設（動態）調査・病院報告」に記載の医療施設数（2019）と、厚生労働省「令和元年社会福祉施設等調査」に記載の有料老人ホーム数（2019）の合計、※11：文部科学省「学校基本調査」に記載の学校数（2019）及び幼稚園数（2019）、厚生労働省公表の保育所（2019）及び他保育施設数（2019）の合計、※12：国土交通省「平成30年法人土地・建物基本調査」に記載の主な利用現況が事務所の建物件数（2018）、※13：一般社団法人マンション管理業協会「令和2年マンション管理受託動向調査結果概要」に記載のマンション棟数（2020）、※14：一般社団法人日本エレベーター協会「2019年度昇降機設置台数等調査結果報告」に記載のエレベーター保守台数（2020）

# ビジネスモデル及び商流

✓ 当社は、カメラ※1を直接またはパートナー経由で販売するとともに、クラウド録画サービス※2を提供



¥ スポット収益 (カメラ販売等)  
リカーリング収益 (クラウドへの映像データ保存・閲覧やアプリ利用等の月額課金)

※1: 当社はカメラの製造は行なっており、(自社ブランドカメラも含め) メーカーからカメラを調達

※2: 当社は自社でインフラ等全てのクラウド環境を構築しているわけではなく、大手クラウドベンダーのサービスを利用しつつ、映像データの保存・閲覧サービスを提供

※3: 「OEMパートナー」とは、当社からクラウドサービスとカメラ (もしくは前者のみ) を仕入れ、利用者にパートナーのブランド名称で再販するパートナーを指す。

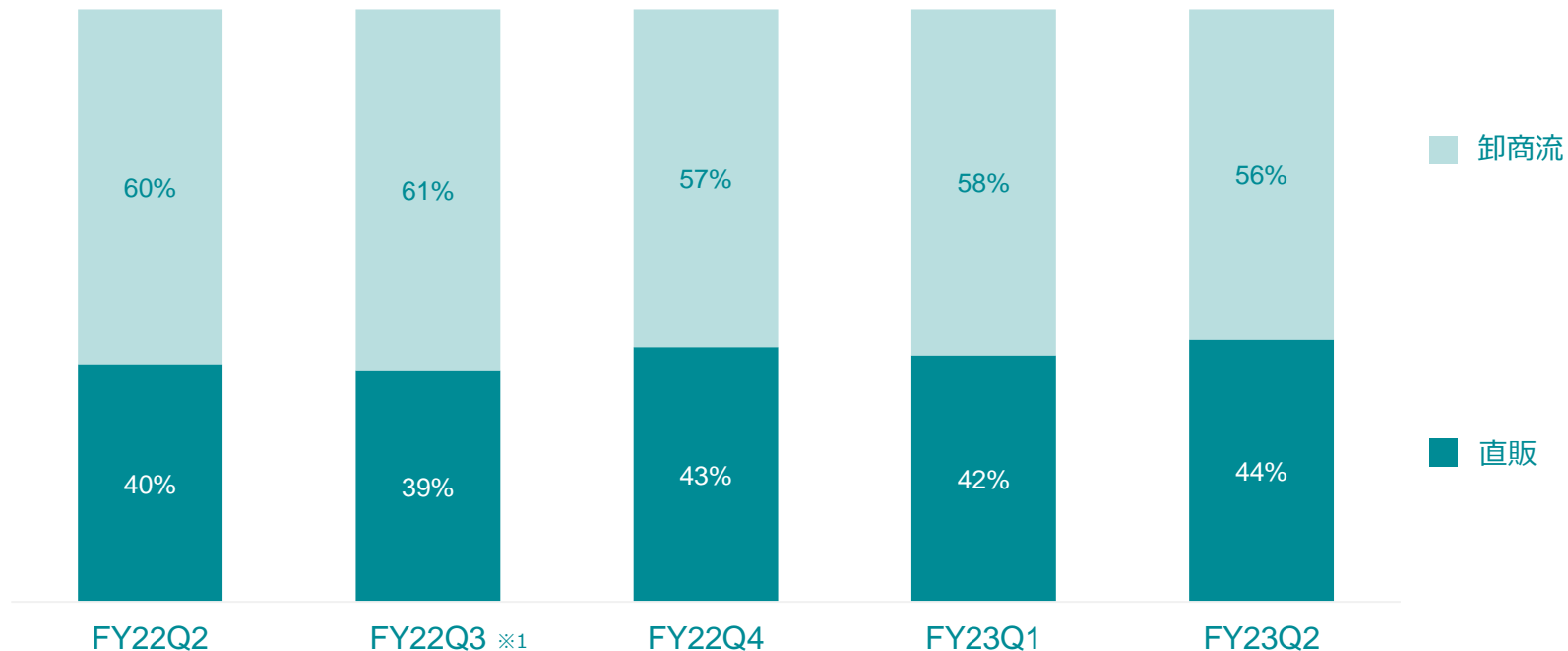
「その他販売パートナー」とは、当社からクラウドサービスとカメラ (もしくは前者のみ) を仕入れ、利用者にSafieブランドのまま再販するパートナーを指す

一部のパートナーでは弊社からのカメラ販売は発生しない

## 商流別売上高構成比

✓ 直販／卸商流比率は同水準を維持

### 売上高構成比（四半期）

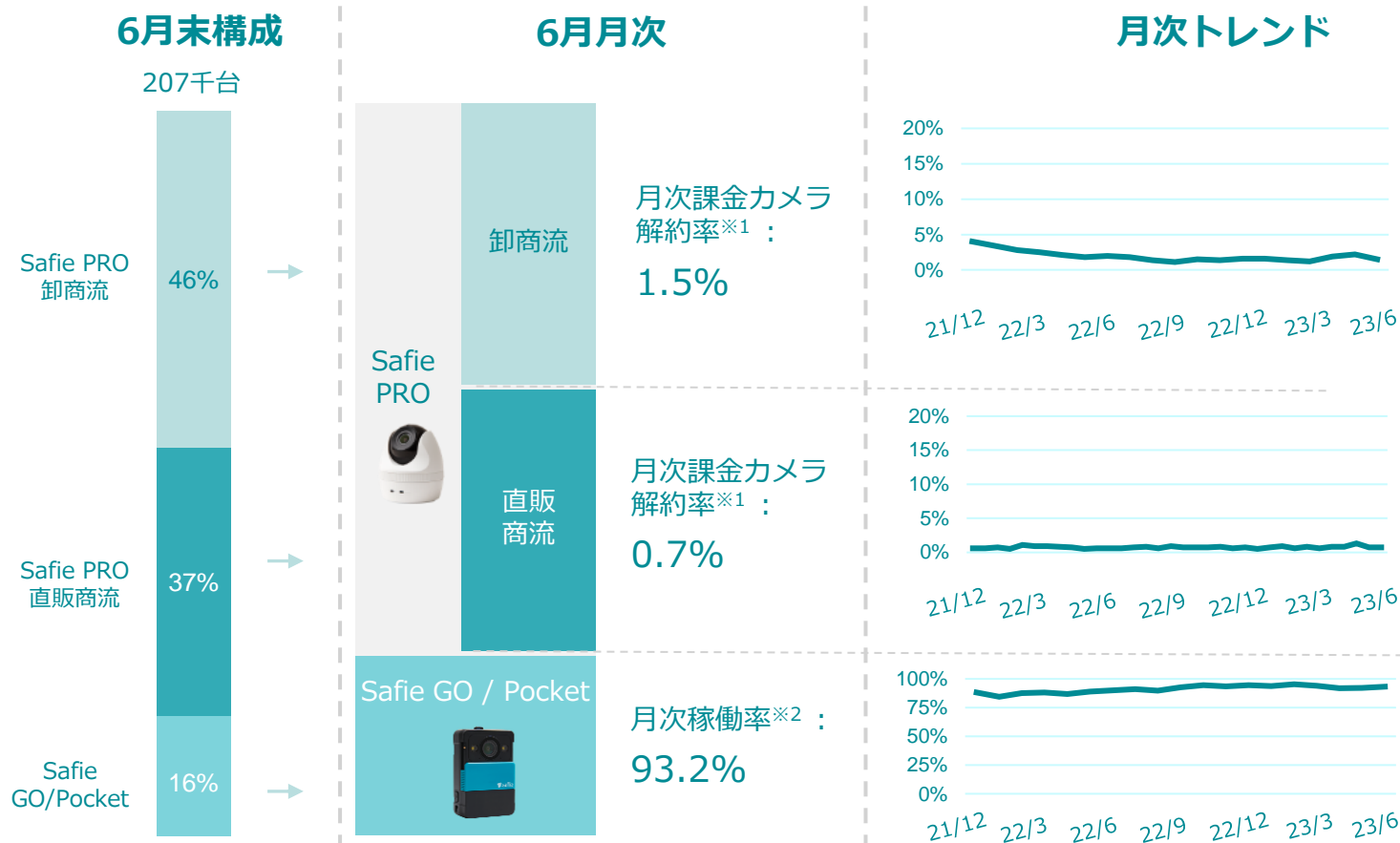


※1：FY2022Q3より連結決算へ移行

# 課金カメラ台数の構成

✓ 月次課金カメラ解約率は低解約率で安定的に推移

課金カメラ台数 ※3



※1：課金カメラ台数ベース月末時点の解約率、月次課金カメラ解約率 = 当月解約台数 / 前月末課金カメラ台数、

※2：稼働率 = 月末課金台数 / 月末レンタル用カメラ台数（稼働不可能な修理品等を除く）、※3：解約率の数値について、課金カメラ台数集計定義変更に伴い、2023年3月以降の解約率は「2023年第1四半期からの集計区分」をベースに集計し、過去の数値には新しい集計区分を適用していない

## 解約率・稼働率の推移

### Safie PRO 課金カメラ解約率（台数ベース）<sup>※1</sup>

		2021/12	2022/3	2022/6	2022/9	2022/12	2023/3	2023/6
卸商流	月次	4.0%	2.5%	2.0%	1.1%	1.6%	1.2%	1.5%
	12ヶ月平均	6.4%	5.4%	4.2%	2.8%	2.0%	1.6%	1.6%
直販商流	月次	0.6%	0.7%	0.6%	0.7%	0.8%	0.8%	0.7%
	12ヶ月平均	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%
全社	月次	2.6%	1.8%	1.4%	0.9%	1.2%	1.1%	1.2%
	12ヶ月平均	4.3%	3.6%	2.8%	1.9%	1.4%	1.2%	1.2%

### GO/Pocket 課金カメラ稼働率（台数ベース）

		2021/12	2022/3	2022/6	2022/9	2022/12	2023/3	2023/6
全社	月次	88%	88%	90%	92%	94%	94%	93%

※1：解約率の数値について、課金カメラ台数集計定義変更に伴い、2023年3月以降の解約率は「2023年第1四半期からの集計区分」をベースに集計し、過去の数値には新しい集計区分を適用していない

# 主要マネジメント (1)



## 佐渡島 隆平

代表取締役社長CEO

1999年 12月 Daigakunote.com創業 (CEO)  
2002年 4月 ソネット株式会社  
(現 ソニーネットワークコミュニケーションズ  
株式会社) 入社  
2010年 10月 モーションポートレート株式会社入社 (CMO)  
2014年 10月 セーフィー株式会社創業  
2020年 12月 Forbes日本の起業家ランキング2021 第1位



## 森本 数馬

取締役 開発本部本部長 兼 CTO

2001年 3月 東京大学工学部応用物理 物理学科卒業  
2001年 4月 ソニー株式会社入社  
2012年 8月 グリー株式会社入社  
2013年 11月 モーションポートレート株式会社入社  
2014年 10月 セーフィー株式会社創業



## 古田 哲晴

取締役 経営管理本部本部長 兼 CFO

2006年 4月 McKinsey&Company Inc.入社  
2010年11月 株式会社産業革新機構入社  
2017年 3月 当社入社 経営管理本部長兼CFO (現任)  
2019年10月 当社取締役 (現任)



## 下崎 守朗

取締役

2003年 3月 東京大学情報理工学系研究科知能機械情報学修了 (修士)  
2003年 4月 ソニー木原研究所入社  
2009年 1月 ザイオソフト株式会社入社  
2013年 12月 モーションポートレート株式会社入社  
2014年 10月 セーフィー株式会社創業



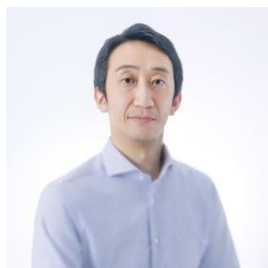
## 岩田 彰一郎

社外取締役

1973年 3月 ライオン油脂株式会社 (ライオン株式会社) 入社  
1986年 3月 プラス株式会社入社  
1992年 5月 同社 営業本部アスクル事業推進室室長  
1997年 3月 アスクル株式会社 代表取締役社長  
2000年 5月 同社 代表取締役社長兼CEO  
2006年 6月 株式会社資生堂 社外取締役  
2008年 4月 公益社団法人経済同友会 副代表幹事  
2012年 4月 同会 幹事  
2019年 9月 株式会社フォース・マーケティングアンドマネジメント  
代表取締役社長 (現任)  
2020年 8月 当社 社外取締役 (現任)  
2021年 6月 エステー株式会社 社外取締役 (現任)  
2021年 9月 Arithmer株式会社 社外取締役 (現任)  
2022年 5月 株式会社Hacobu 社外取締役 (現任)



## 主要マネジメント (2)



### 西村 宣昭

執行役員 営業本部本部長 兼 CRO

2001年 4月 オリックス株式会社入社  
2018年 5月 ORIX Corporation USA 出向  
2022年 5月 当社入社  
2023年 1月 当社執行役員



### 中村 晋也

執行役員 カスタマーサービス本部本部長 兼 CCO

2001年10月 株式会社アイティ・イット  
(現 エクシオ・システムマネジメント株式会社) 入社  
2007年 3月 ソネット株式会社  
(現 ソニーネットワークコミュニケーションズ  
株式会社) 入社  
2020年 4月 当社入社 オペレーション部部長  
2021年12月 当社執行役員



### 鈴木 竜太

執行役員 営業本部副本部長

2004年 4月 株式会社ジュピターテレコム (現 JCOM株式会社) 入社  
2011年 6月 株式会社g&h入社 取締役 CSO  
2016年10月 当社入社 営業部長  
2018年10月 当社パートナー営業本部長  
2020年12月 当社執行役員



### 植松 裕美

執行役員 企画本部副本部長 兼 VPoP

1999年 3月 北海道大学大学院量子物理学専攻修了  
1999年 4月 株式会社日立メディコ  
(現 富士フイルムヘルスケアアマニユファクチャリング  
株式会社) 入社  
2006年11月 ソニー株式会社入社  
2015年 1月 株式会社スポットライト  
(現 楽天ペイメント株式会社) 入社  
2017年 9月 アマゾンジャパン合同会社 入社  
2020年 2月 当社入社  
2021年 4月 当社企画本部企画部部長  
2021年12月 当社執行役員



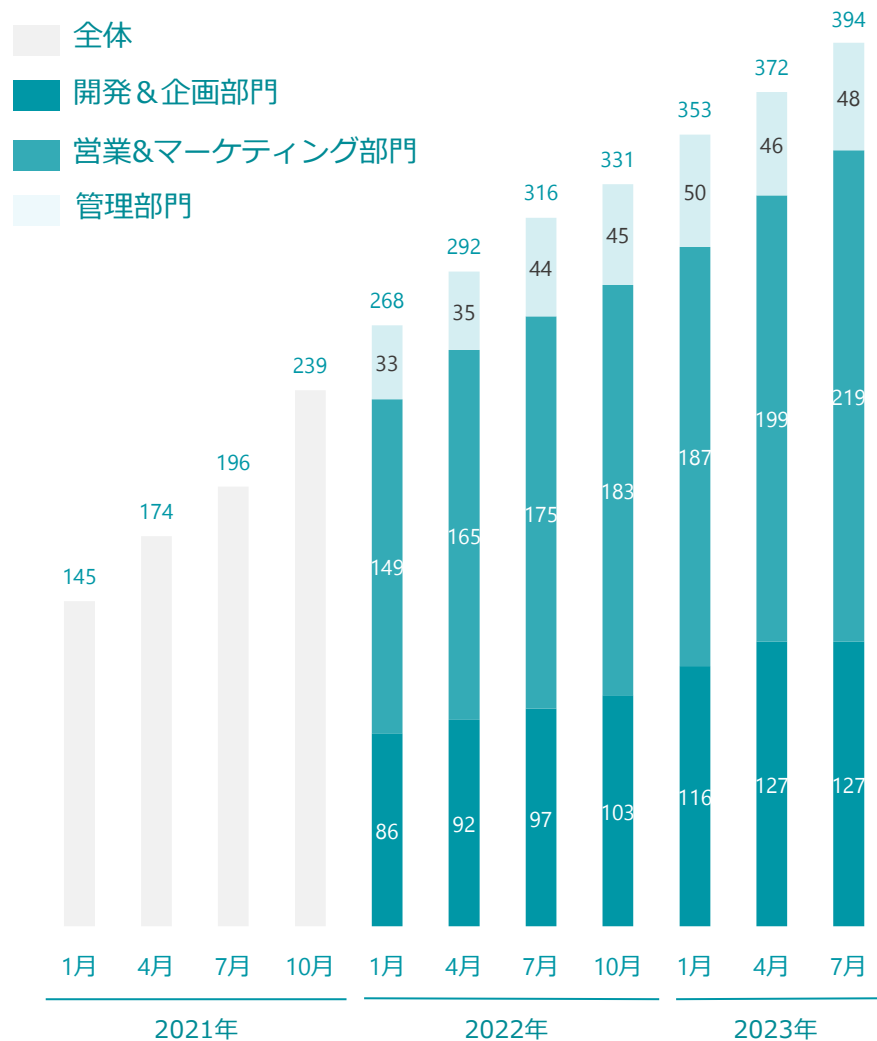
### 白石 久也

執行役員 企画本部本部長 兼 CPO

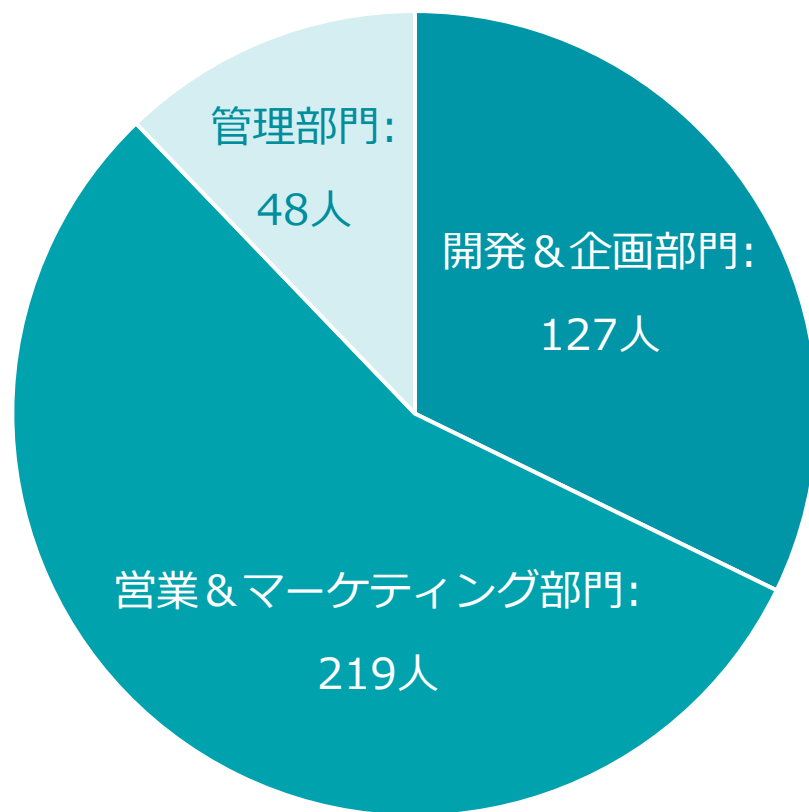
1997年 4月 TDCソフト株式会社入社  
2002年10月 ヤフー株式会社入社  
2018年 6月 株式会社 GYAO 取締役  
2021年10月 Z Entertainment 株式会社 CPO 室長  
2022年 6月 当社入社  
2023年 1月 当社執行役員

# 社員数の推移

## 社員数の推移※1



## 人員構成（2023年7月）



※1：各月初の人数

# 連結貸借対照表

(単位：千円)	2022年12月末	2023年6月末		2022年12月末	2023年6月末
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	8,771,628	7,828,550	買掛金	556,961	659,012
受取手形、売掛金及び契約資産	1,152,934	1,421,682	1年内返済予定の長期借入金	31,656	111,656
電子記録債権	9,500	6,300	未払法人税等	29,869	46,381
商品	1,022,136	1,215,226	賞与引当金	55,620	67,298
その他	281,583	414,294	その他	715,521	730,558
貸倒引当金	-3,116	-3,747	流動負債合計	1,389,628	1,614,906
流動資産合計	11,234,666	10,882,306	固定負債		
固定資産			長期借入金	94,204	3,238
有形固定資産	-	126,320	その他	242	202
投資その他の資産	1,490,513	1,572,176	固定負債合計	94,446	3,440
固定資産合計	1,490,513	1,698,496	負債合計	1,484,074	1,618,346
繰延資産	363	322	<b>純資産の部</b>		
資産合計	12,725,542	12,581,125	株主資本		
			資本金	5,476,879	5,557,716
			資本剰余金	7,962,262	8,043,099
			利益剰余金	-2,203,384	-2,642,280
			自己株式	-167	-167
			株主資本合計	11,235,590	10,958,367
			その他の包括利益累計額		
			その他有価証券評価差額金	549	459
			その他の包括利益累計額合計	549	459
			新株予約権	5,328	3,952
			純資産合計	11,241,467	10,962,779
			負債純資産合計	12,725,542	12,581,125

## 本資料の取り扱いについて

- 本資料は、セーフイー株式会社(以下「当社」といいます)の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。
- 本資料には、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報をもとに、本資料は作成時点における当社の判断に基づいて記載したものであり、また、一定の前提の下になされています。そのため、これらの記述または前提の、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の結果はこれと大幅に異なる可能性があります。したがって、これらは将来に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。
- なお、本資料における記述は本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有していません。
- また、本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報は、公開情報または第三者が作成したデータ等から引用したものであり、かかる情報は正確性・適切性等について、当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

Safie IRに関するお問い合わせはこちら

[ir@safie.jp](mailto:ir@safie.jp)

セーフイーのサステナビリティご紹介ページはこちら

<https://safie.co.jp/csr/>